



登米市教育研究所

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向 150-1

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>

TEL 0220-22-8029(相談専用 22-8125) FAX 22-9114



最近、「カリスマ美容師」が時々話題に上ります。さて、「美容師」と「理容師」はどう違うのでしょうか。この頃は男性でも「美容院」に行く人が増えてきているそうです。「美容院」にいる人が「美容師」？「床屋(理容院)」にいる人が理容師？大きな違いは、顔剃りができるかできないかだそうです。理容師になるためには、髪を切る技術のほかに顔剃りの技術を得なければいけないようです。最近では顔剃りをやってもらう女性も増え、女性のためのサービスを提供する理容院も多くみられるようになったということです。

ICT(タブレット)研修会①



<講師の佐藤靖泰先生>

6月21日(金)第1回目のICT(タブレット)研修会が、登米小学校を会場に行われました。講師は(株)フューチャーインスティテュートの教育コンサルタント 佐藤靖泰(やすひろ)先生です。

「子どもたちの理解を深めるICTの活用と授業づくり」と題して講話と実技を行いました。これからのICT活用について、先生の熱い思いが伝わってきました。

- はじめは、座学ということで、これからのICT活用の見通しやプログラミング教育の重要性等について、詳しく説明していただきました。
- ◇ 小学校でのプログラミング～2020年から必須
- ◇ 文科省が目指す未来の学校～個別最適化, 校務の効率化 児童・生徒の学習支援(ICT)
- ◇ AIの導入～できない、分からないでは済まされない時代
- ◇ タイピングスキルを高めることは必須～子どもからできるように 座学後は実際にPCやタブレットを使用しての体験と授業への活かし方等について、無料で活用できるサイトの紹介を交えて説明していただきました。
- ◇ タイピングでローマ字を身に付ける
 - ・できるかな? タイピング ・血打 ・myTyping
- ◇ ホワイトボードで意見を交流・検討する ・Whiteboard Fox
- ◇ Googleでできること
 - ・Google Map～様々な場所を確認する
 - ・Google翻訳～単語や文章を訳す 発音を確認する
 - ・Googleドキュメント～文章を書く、推敲 読み合う
 - ・Googleスライド～プレゼン資料をつくる・構成する
- ◇ Googleのサービスを使うには
 - ・先生用のアカウント ・編集、閲覧等の権限の設定
 - ・学校向けサービスの申請(市教委から)～学校用は無料
- ◇ 45分をどのようにマネジメントするか→先生がすること
- ◇ プログラミング的思考を育むことが大切



<参加者の感想(抜粋)>

- たいへん便利なソフトがたくさんあると感じた。積極的に活用することで教師の力量が上がっていくと感じた。
- これからの世の中を生きる子どもたちのために、私たち教員が知識やスキルを身に付けなければいけないと思った。
- 時代は変わった・・・と強く感じる研修会だった。これから生きていく子どもたちのためにこういう学習が必要なのだと思った。
- いろいろなツールを教えていただいた。まず知らなければ活用することができないので、職場に帰って伝えたい。
- フリーで使えるサイトがたくさんあることを初めて知った。

心の教室相談員及び教育相談担当者等合同研修会①



<講師の西野美佐子先生>

6月25日(火)第1回心の教室相談員及び教育相談担当者等合同研修会が開催されました。講師は教育研究所の専門カウンセラーの西野美佐子先生です。

「教育相談の基本的な考え方と支援体制の確立～学び合う地域・育ち合う地域～」と題し、児童・生徒の不登校等の課題にどのように対応すればよいかを知り、早期発見・早期対応、きめ細かな支援体制の構築を図ることを目標に講話をいただきました。概要は以下の通りです。

- ◇ 3段階の心理教育的援助
 - 不登校の1次的援助(未然防止)～全ての児童・生徒に
 - ・学校は楽しい ・自己理解, 他者理解 ・安心感のある学級, 学校
 - 不登校の2次的援助(早期発見・早期対応)～一部の児童・生徒に
 - ・不登校の兆候 ・不登校予防のための早期対応(電話, 家庭訪問等)
 - 不登校の3次的援助(重症化の防止)～特定の児童・生徒に
 - ・子どもが自分を受け入れ状況の改善を図る
 - ・できる限りの情報収集と再登校への援助
 - ・一人一人に応じた問題解決策の実行 ・再登校後の再発防止
 - ◇ 不登校克服に大切なこと
 - 否定しない(よいところを認める) ○ 上手な自己主張を教える
 - 家庭環境の急激な変化→安心感を ○ 話を聞いてあげる(傾聴)
 - ◇ 欲求とニーズの違い
 - 欲求～したいこと, してほしいこと, したくないこと, してほしくないこと
 - ニーズ～ある目的(教育・成長等)のために必要なこと
 - ◇ 相手の心に近づく聴き方
 - 繰り返し(フィードバック) ○ 目を使って聴く
 - 話されなかった言葉の想像
 - 話し手の言葉の消化 ○ 自然に話したくなる聴き方
 - 波長を合わせ, 波長をずらす ○ 肯定的に言い換える(リフレーム)
 - 自己開示 ○ 相手の身になる聴き方 ○ 心的外傷後成長
 - ◇ 不登校の子どもと関わる視点
 - 成長・発達に必要な経験の提供 ○ 様々な原因の理解
 - 安心感 ○ 仲間と交流 ○ スモールステップで
 - 自分くずしと自分探し ○ 見守る ○ 道を切り開く支援
 - ◇ チーム援助
 - 担任・保護者・カウンセラー・地域 ○ 支援体制
 - 多様な援助ニーズ(教育, 医療・保健, 家族の福祉, 保護者のニーズ)
 - 地域レベルでのチームが必要
- ※ 他にも大切なお話がありました。紙面の関係で省略します。

<参加者の感想(抜粋)>

- 自分が担当している特別支援学級の児童に対して生かせる話が多くあり勉強になった。
- 心の問題を抱えた子ども・保護者に対応する際に、どんなつなぎ先があるのかが分かった。
- つい問題の原因を探したくなってしまいますが、解決に向けて子どものよき見つけたい。
- チームで対応していくことの大切さを学んだ。自校の体制を見直し、研修内容を校内に発信したい。

No.6の答え

□□あ □ね□ □う□< 答えは「こ」です
□に入る共通の平仮名は? ここあ こねこ こうこく

頭の体操

今 横
↓ ↓
王→ □→□→ 面
↓ ↓
食 色

□に入る漢字2文字は何?
答え と